

(H23)若松住宅発掘調査業務報告書

2012年5月

テイケイトレード株式会社 埋蔵文化財事業部

当時、陸軍軍医学校は陸軍第一病院（現・国立国際医療センター）と隣接していた。医学校と病院という関係性を鑑みれば、軍医学校と第一病院は陸軍が主管するほぼ一体化した施設であったと考えられる。陸軍軍医学校と陸軍第一病院では日々医療行為が行われており、相当量の廃棄物が発生していたことは想像に難くない。今回の調査で出土した大量の医療器具は、当時、敷地の空隙地に穴を掘り、不要となった医療器具を廃棄することが日常的に行われていたことを示唆するものである。

若松住宅発掘調査報告書

財務省関東財務局行政文書開示資料(2012年7月)

昭統様式第17号

開財統3第 154号
平成24年 7月20日

行政文書開示決定通知書

戦争被害調査会法を複製する市民会館 川村一之 様

関東財務局長 西戸 利明

平成24年6月22日付で受け付けられた行政文書の開示請求について、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり、開示することと決定しましたので通知します。

記

1 開示する行政文書の名称

- ・ (PDF)若松住宅発掘調査業務報告書
- ・ (PDF)若松住宅発掘調査業務に係る薬品類分析調査報告書
- ・ 事前調査における石綿分析（定性分析）結果報告書
- ・ (PDF)若松住宅発掘調査業務に係る写真乾板調査報告書
- ・ 調査成果写真（PDF）若松住宅発掘調査業務に係る写真乾板調査

2 不開示とした部分とその理由

(1) 不開示の部分

- ① 本人の印影
- ② 個人名
- ③ 社団法人日本作業測定協会が行う石綿分析評価事業に関する資格の有無、ランク、認定番号
- ④ 写真の顔部分

(H23)薬品類分析調査報告書

2012年5月 日本物理検査株式会社

2.2 測定結果

29種類、161本の薬品類及び102個の破片について測定番号を付し、内容物確認、First Defender XLによる計測を実施した。First Defender XLによる測定は、計測不能であるが、調剤可能でRAID-M100によるガス検知が可能なものについてはガス検知も実施した。

First Defender XLによる測定結果が出たもの及びRAID-M100によるガス検知結果についての概要を次頁以降「測定結果総括表」に示し、結果詳細（寸法、内容物の状態、測定結果、ラマンスペクトル等）については「測定作業データシート」として巻末資料に添付した。

(H23) 薬品類分析調査報告書

2012年5月 日本物理検査株式会社

測定結果概要としては、

- ① スルファメチゾール（サルファ剤（化学構造上基本的にスルフォン基をもつ抗菌剤）の一種）等の混合物。
- ② クロトン油、トウモロコシ油に類似したもの。
- ③ N,N-ジニチルニコチン酸アミド（（薬理・生理研究試薬）（中枢神経系作用物質）（中枢神経興奮物質）中枢神経興奮物質として脳幹興奮物質に分類されている）等の混合物。
- ④ イソペンチルアルコール（有機溶剤の一種、香料原料、抽出剤、塗料用溶剤、印刷インキ用溶剤、なっ染用溶剤）。

内容物が判明した物質のうち、イソペンチルアルコールは、加温状態（39℃以上）で取り扱う場合、火災、爆発の危険性があるため、処理するにあたり注意が必要である。その他の物質は、特に危険性はない。

(H23)写真乾板調査報告書

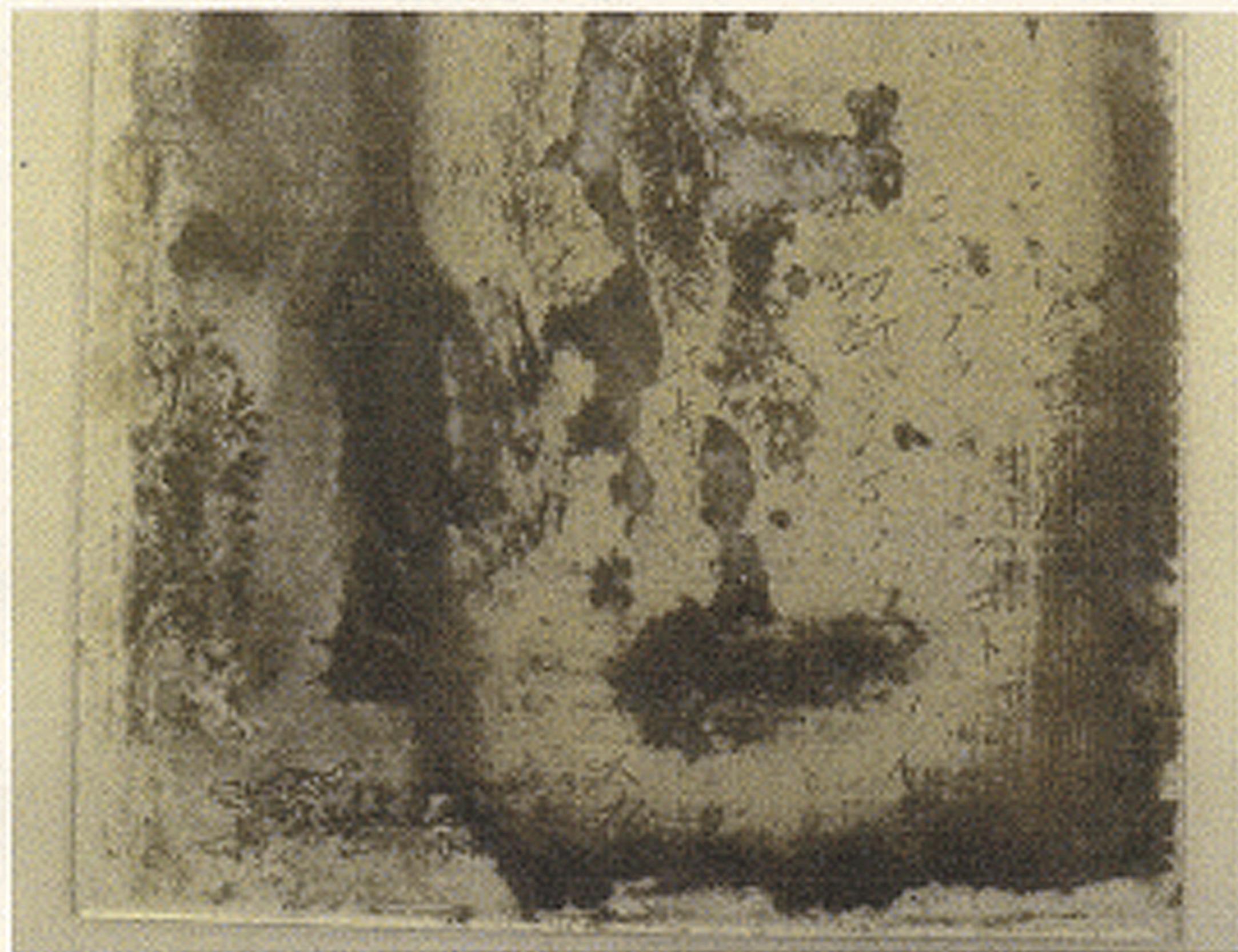
2012年5月 日本シャボン株式会社





透過反転画像

文字記載個体



D3 (部分)